

中小企業景況調査報告書

2023年 4 ～ 6月期実績

2023年 7 ～ 9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

- ①調査対象時期：2023年4～6月期の実績及び2023年7～9月期見通し
- ②調査期間：2023年5月23日～6月2日 ※調査時点は2023年6月2日

(2) 調査方法

- ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
- ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

- ①人口 ～9,999人 …… せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町
- ②人口10,000～29,999人… 七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
- ③人口30,000人～(市に含まれる)… 石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	50	50	100.0%	小売業	86	83	96.5%
建設業	49	47	95.9%	サービス業	115	111	96.5%
				合計	300	291	97.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) DI＝ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは50-20=(+)30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※DI値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					今期	来期見込
	今期	来期見込	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3			
製造業	▲ 10.2	▲ 4.0	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 17.8	10.0	2.1	
建設業	▲ 21.3	▲ 21.3	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 15.9	0.0	▲ 12.7	
小売業	▲ 33.8	▲ 32.5	▲ 32.0	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 31.4	▲ 28.0	
サービス業	▲ 25.5	▲ 24.1	▲ 16.5	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 12.7	▲ 18.7	

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 7-9	R4. 10-12	R5. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	16.3	12.0	19.1	10.4	8.9	22.0	18.8
	不 変	57.2	72.0	55.4	60.4	64.4	66.0	64.5
	悪 化	26.5	16.0	25.5	29.2	26.7	12.0	16.7
	D・I	▲ 10.2	▲ 4.0	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 17.8	10.0	2.1
売上(加工)額	増 加	20.0	16.0	39.6	20.8	19.6	32.0	
	不 変	56.0	58.0	33.3	37.5	32.6	46.0	
	減 少	24.0	26.0	27.1	41.7	47.8	22.0	
	D・I	▲ 4.0	▲ 10.0	12.5	▲ 20.9	▲ 28.2	10.0	
資金繰り	好 転	10.2	8.2	2.1	4.3	2.3	8.2	
	不 変	77.6	79.6	76.6	65.9	79.5	77.5	
	悪 化	12.2	12.2	21.3	29.8	18.2	14.3	
	D・I	▲ 2.0	▲ 4.0	▲ 19.2	▲ 25.5	▲ 15.9	▲ 6.1	
原材料仕入単価	上 昇	87.8	79.6					
	不 変	12.2	20.4					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	87.8	79.6					
採算(経常利益)	好 転	12.0	12.0					
	不 変	58.0	62.0					
	悪 化	30.0	26.0					
	D・I	▲ 18.0	▲ 14.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

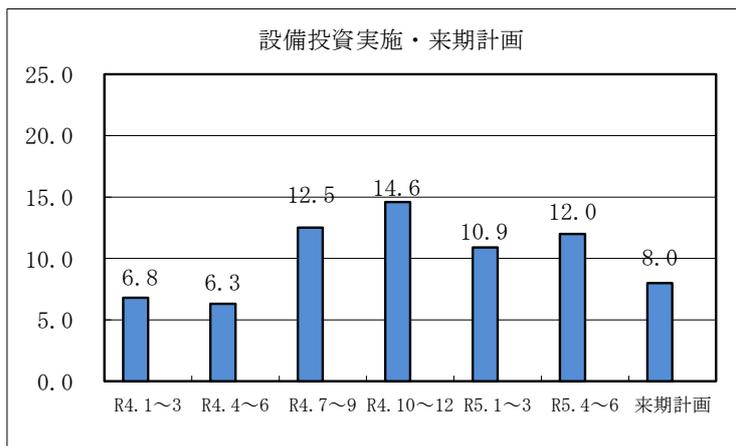
回答50事業所の内、6事業所(12.0%)が実施。

●生産設備=4事業所、●車両運搬具=3事業所、●工場建物、OA機器、その他=各1事業所

【来期計画内容】

回答50事業所の内、来期に4事業所(8.0%)が計画。

●生産設備=2事業所、●車両運搬具、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より2.7ポイント減少している。2位も前回同様の「需要の停滞」で3.4ポイント減少している。3位も前回同様の「従業員の確保難」で1.0ポイント減少している。4位は前回番外の「製品ニーズの変化」で10.9ポイント増加した。5位は前回5位の「生産設備の不足・老朽化」で8.5ポイント増加した。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 7-9	R4. 10-12	R5. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	10.6	6.4	10.4	10.4	9.1	17.0	12.8
	不 変	57.5	65.9	72.9	68.8	65.9	66.0	61.7
	悪 化	31.9	27.7	16.7	20.8	25.0	17.0	25.5
	D・I	▲ 21.3	▲ 21.3	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 15.9	0.0	▲ 12.7
完成工事 (請負工 事) 額	増 加	17.0	12.8	39.6	33.3	15.6	26.1	
	不 変	46.8	51.0	39.6	37.5	44.4	36.9	
	減 少	36.2	36.2	20.8	29.2	40.0	37.0	
	D・I	▲ 19.2	▲ 23.4	18.8	4.1	▲ 24.4	▲ 10.9	
資金繰り	好 転	13.0	6.5	8.5	10.4	2.3	11.1	
	不 変	76.1	78.3	83.0	75.0	84.1	77.8	
	悪 化	10.9	15.2	8.5	14.6	13.6	11.1	
	D・I	2.1	▲ 8.7	0.0	▲ 4.2	▲ 11.3	0.0	
材 料 仕入単価	上 昇	87.0	73.9					
	不 変	13.0	26.1					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	87.0	73.9					
採算(経 常利益)	好 転	10.6	8.5					
	不 変	55.4	55.3					
	悪 化	34.0	36.2					
	D・I	▲ 23.4	▲ 27.7					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

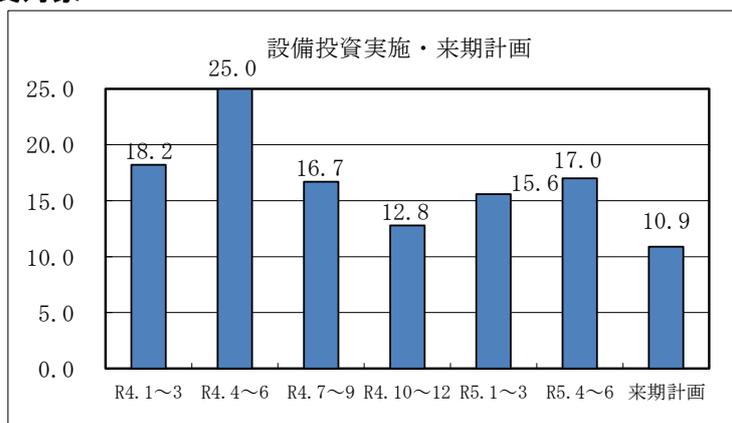
回答47事業所の内、8事業所(17.0%)が実施。

●車両・運搬具=5事業所、●機械装置、OA機器=2事業所、●土地、建物、その他=各1事業所

【来期計画内容】

回答47事業所の内、来期は5事業所(10.9%)が計画。

●車両・運搬具=3事業所、●土地、建物、建設機械、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で5.3ポイント増加した。2位も前回同様の「従業員の確保難」で2.5ポイント減少した。3位も前回同様の「民間需要の停滞」で1.0ポイント減少した。4位は前回番外の「材料費・人件費以外の経費の増加」で7.1ポイント増加した。5位は前回同様の「熟練技術者の確保難」で2.2ポイント増加した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 7-9	R4. 10-12	R5. 1-3	今期	来期見込
業 況	好 転	10.8	10.0	7.3	7.3	3.8	7.2	9.8
	不 変	44.6	47.5	58.6	50.0	48.8	54.2	52.4
	悪 化	44.6	42.5	34.1	42.7	47.4	38.6	37.8
	D・I	▲ 33.8	▲ 32.5	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 31.4	▲ 28.0
売 上 額	増 加	19.3	15.7	26.5	23.2	12.8	21.7	
	不 変	40.9	44.5	36.2	39.0	39.8	44.6	
	減 少	39.8	39.8	37.3	37.8	47.4	33.7	
	D・I	▲ 20.5	▲ 24.1	▲ 10.8	▲ 14.6	▲ 34.6	▲ 12.0	
資 金 繰 り	好 転	2.4	3.7	3.6	0.0	2.7	2.4	
	不 変	65.9	64.2	69.9	65.4	64.9	70.8	
	悪 化	31.7	32.1	26.5	34.6	32.4	26.8	
	D・I	▲ 29.3	▲ 28.4	▲ 22.9	▲ 34.6	▲ 29.7	▲ 24.4	
商 品 仕 入 単 価	上 昇	69.9	65.1					
	不 変	25.3	28.9					
	低 下	4.8	6.0					
	D・I	65.1	59.1					
採 算 (経 常 利 益)	好 転	7.2	7.2					
	不 変	48.2	51.8					
	悪 化	44.6	41.0					
	D・I	▲ 37.4	▲ 33.8					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

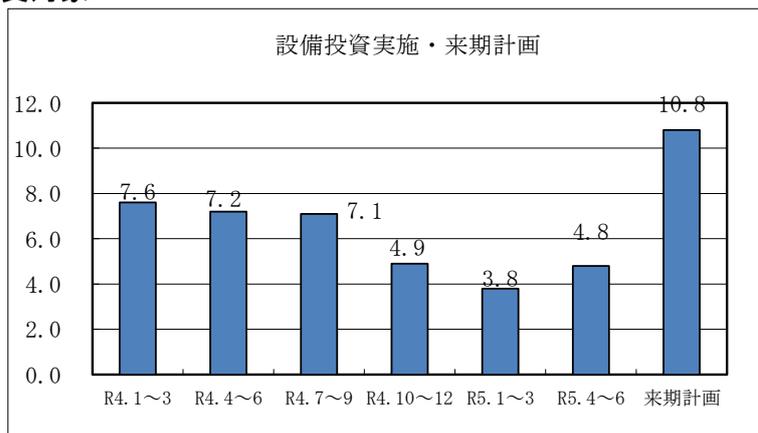
回答83事業所の内4事業所(4.8%)が実施。

●販売設備=2事業所、●車両・運搬具、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

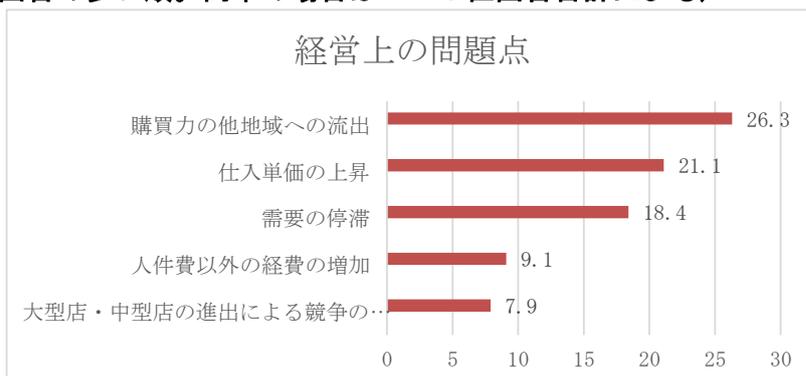
回答83事業所の内、来期は9事業所(10.8%)が計画。

●車両・運搬具=5事業所、●販売設備=3事業所、●土地、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「購買力の他地域への流出」で、前回から1.0ポイント減少した。2位も前回同様の「仕入単価の上昇」で1.4ポイント増加した。3位も前回同様「需要の停滞」で1.7ポイント増加した。4位は前回番外の「人件費以外の経費の増加」で4.6ポイント増加した。5位は前回同様「大型店・中型店の進出による競争の激化」で1.2ポイントの減少となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 7-9	R4. 10-12	R5. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	12.7	7.4	12.3	4.7	5.8	11.8	11.2
	不 変	49.1	61.1	60.3	64.2	53.8	63.7	58.9
	悪 化	38.2	31.5	27.4	31.1	40.4	24.5	29.9
	D・I	▲ 25.5	▲ 24.1	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 12.7	▲ 18.7
売上(収入)額	増 加	26.1	18.0	26.9	11.9	14.3	30.6	
	不 変	38.8	47.8	45.3	48.7	38.1	41.5	
	減 少	35.1	34.2	27.8	39.4	47.6	27.9	
	D・I	▲ 9.0	▲ 16.2	▲ 0.9	▲ 27.5	▲ 33.3	2.7	
資金繰り	好 転	5.5	4.6	8.5	2.8	1.0	5.5	
	不 変	67.0	65.1	70.7	69.2	71.8	72.5	
	悪 化	27.5	30.3	20.8	28.0	27.2	22.0	
	D・I	▲ 22.0	▲ 25.7	▲ 12.3	▲ 25.2	▲ 26.2	▲ 16.5	
仕入単価(材料等)	上 昇	68.8	62.0					
	不 変	28.4	33.4					
	低 下	2.8	4.6					
	D・I	66.0	57.4					
採算(経常利益)	好 転	6.4	4.5					
	不 変	53.2	61.9					
	悪 化	40.4	33.6					
	D・I	▲ 34.0	▲ 29.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

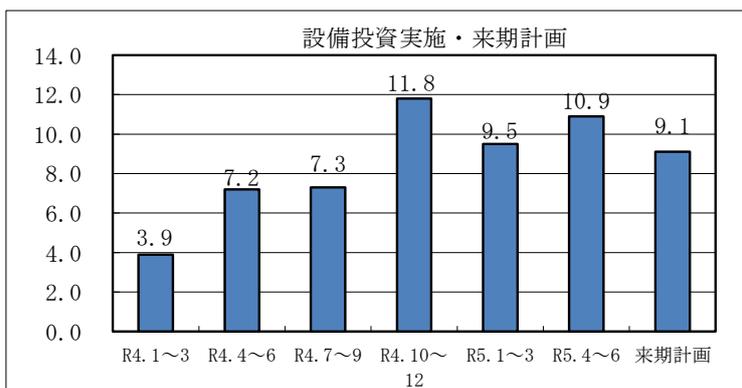
回答111事業所の内、12事業所(10.9%)が実施。

●サービス、車両・運搬具=各4事業所、●付帯施設、その他=各2事業所、●建物=1事業所

【来期計画内容】

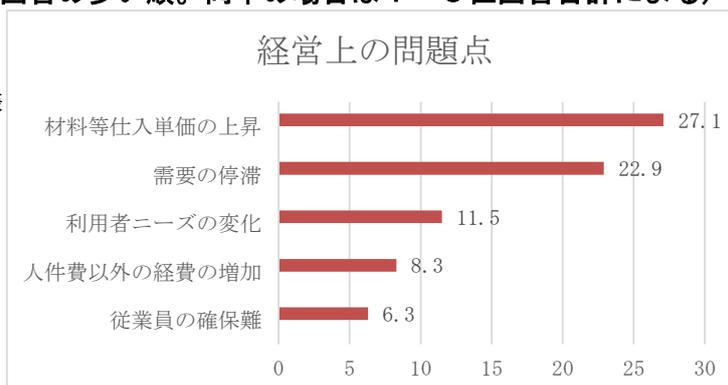
回答111事業所の内、10事業所(9.1%)が計画。

●車両・運搬具=5事業所、●建物、サービス、付帯施設=各2事業所、●OA機器=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「材料等仕入単価の上昇」で、0.4ポイント増加している。2位も前回同様の「需要の停滞」で2.9ポイント増加した。3位も前回同様の「利用者ニーズの変化」で0.4ポイント増加した。4位は前回番外の「人件費以外の経費の増加」で4.6ポイント増加した。5位は前回同様の「従業員の確保難」で2.6ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

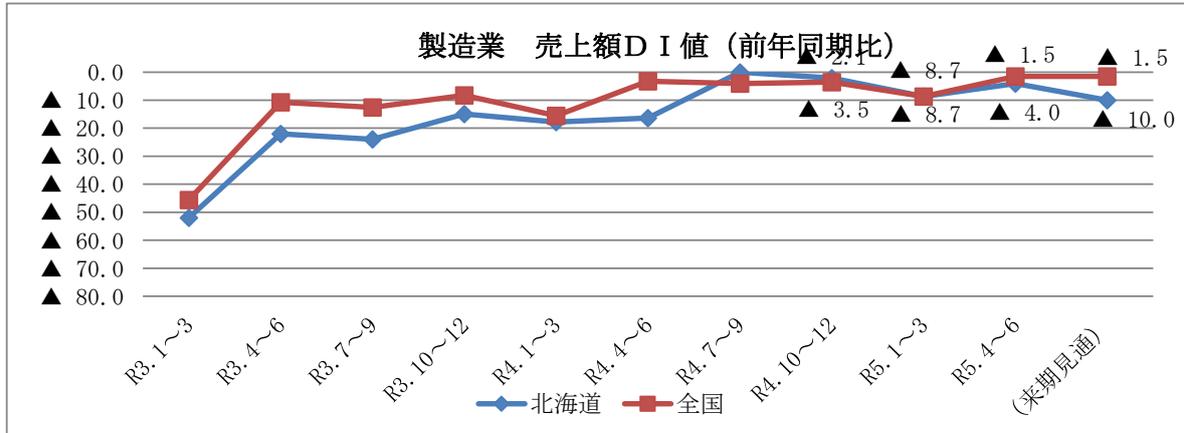
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

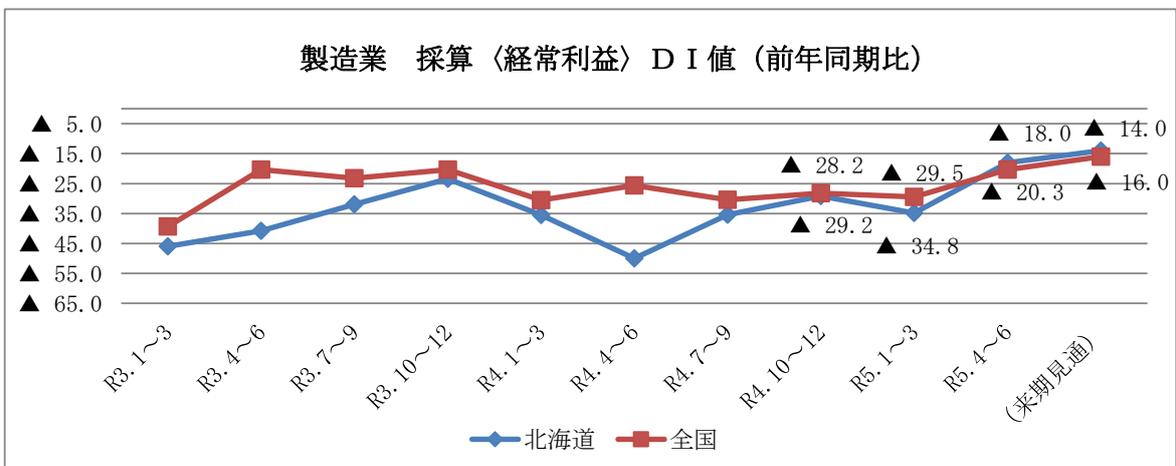
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・上昇、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・上昇
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・上昇、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・上昇
(見込)売上額▲DI値・・・上昇、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・上昇

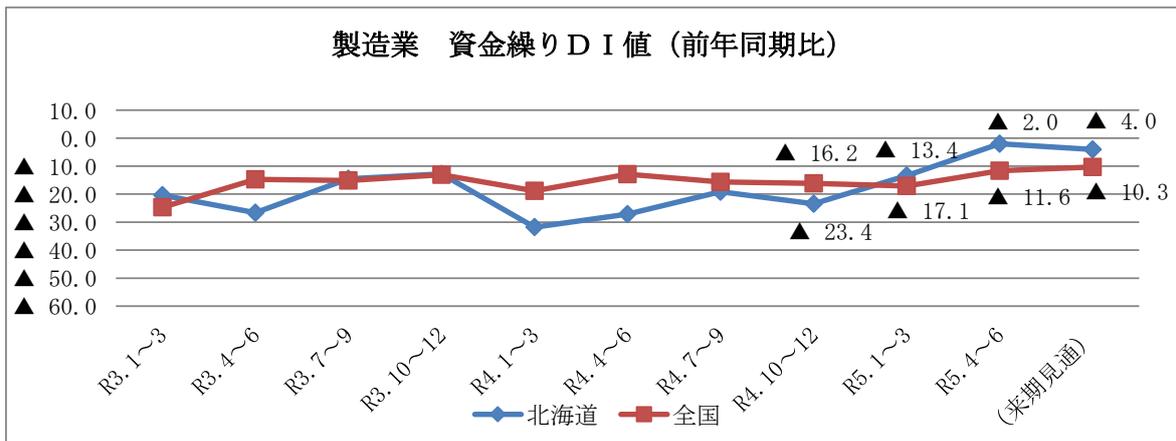
売上額



採算



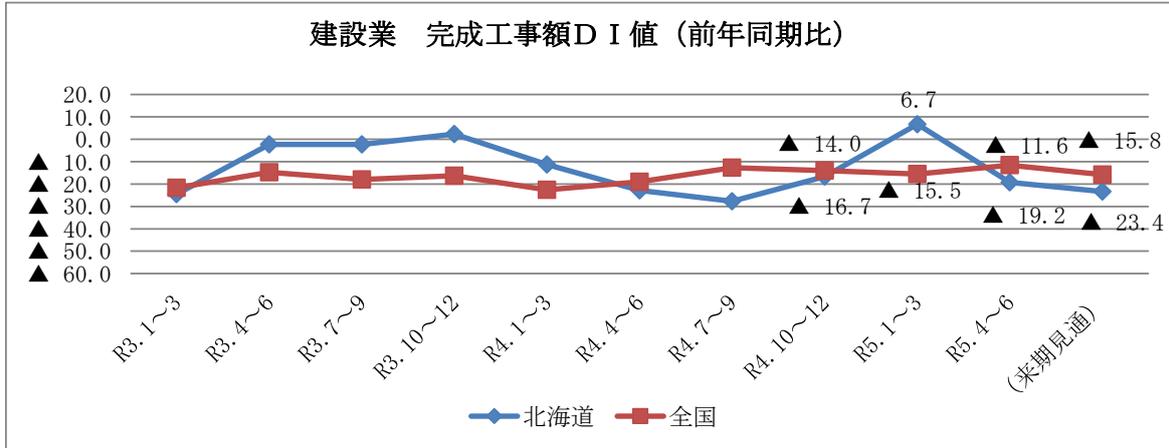
資金繰り



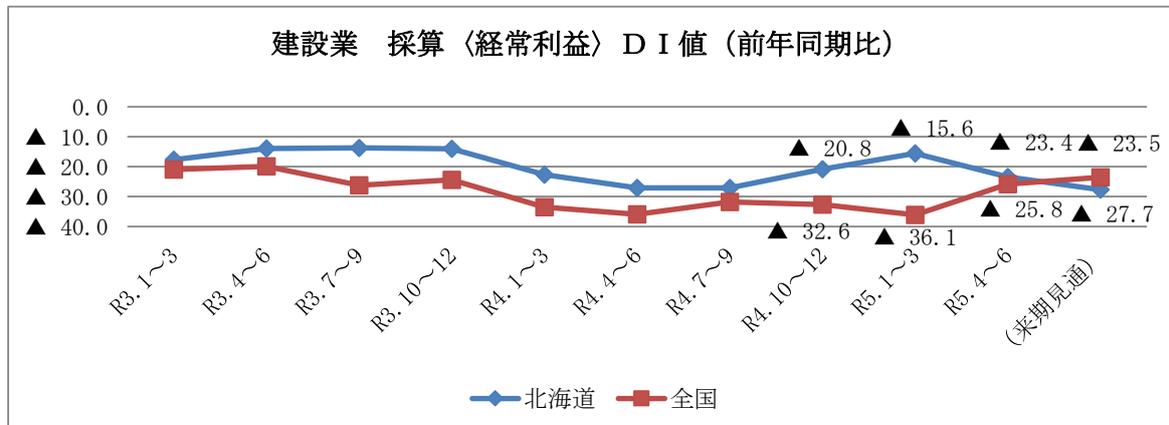
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

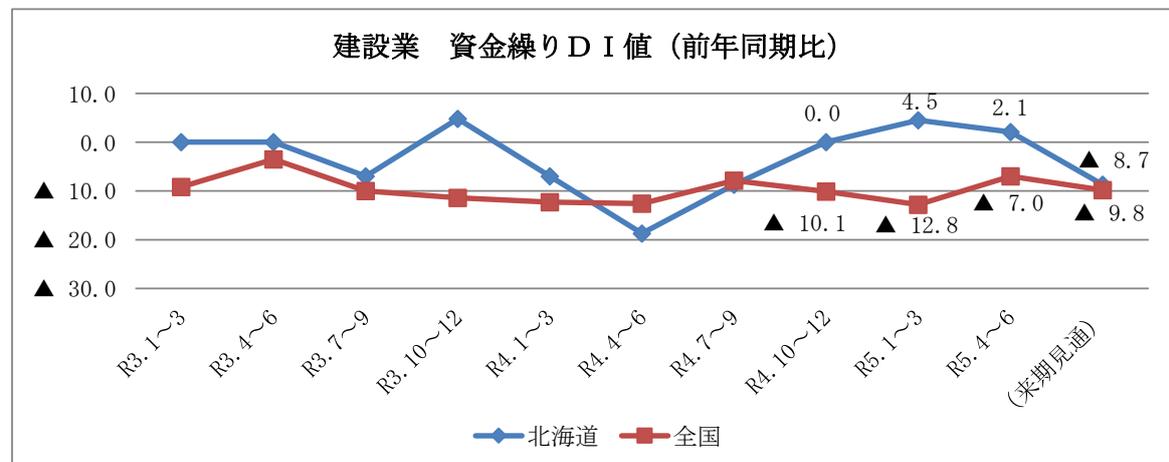
完成工事額



採算



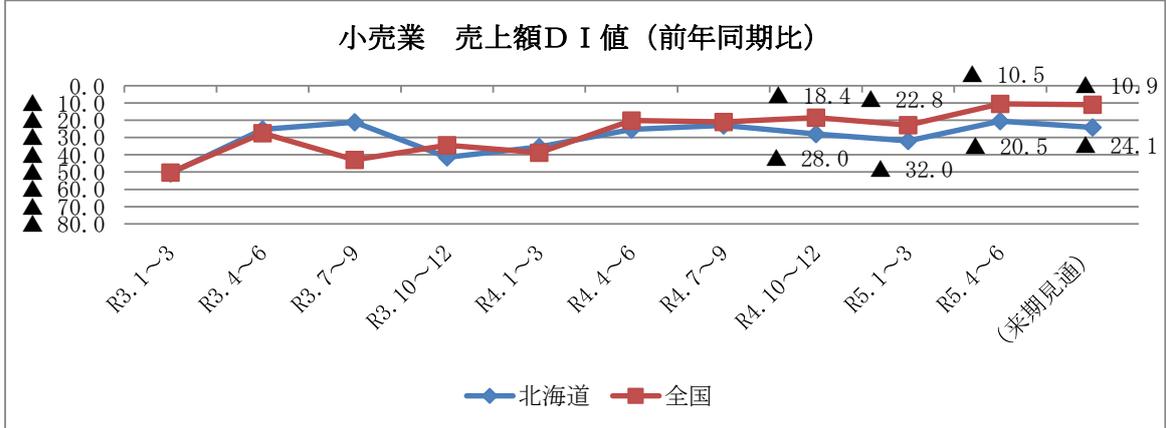
資金繰り



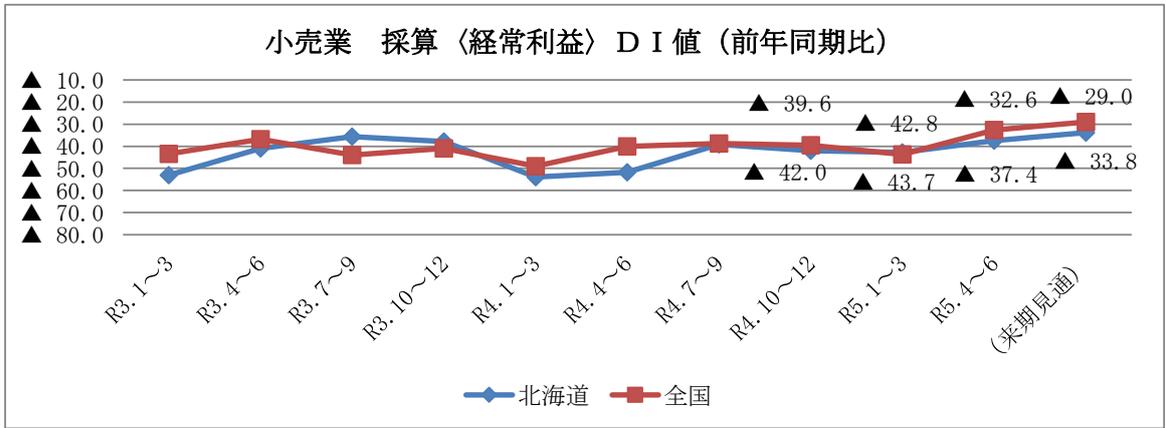
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

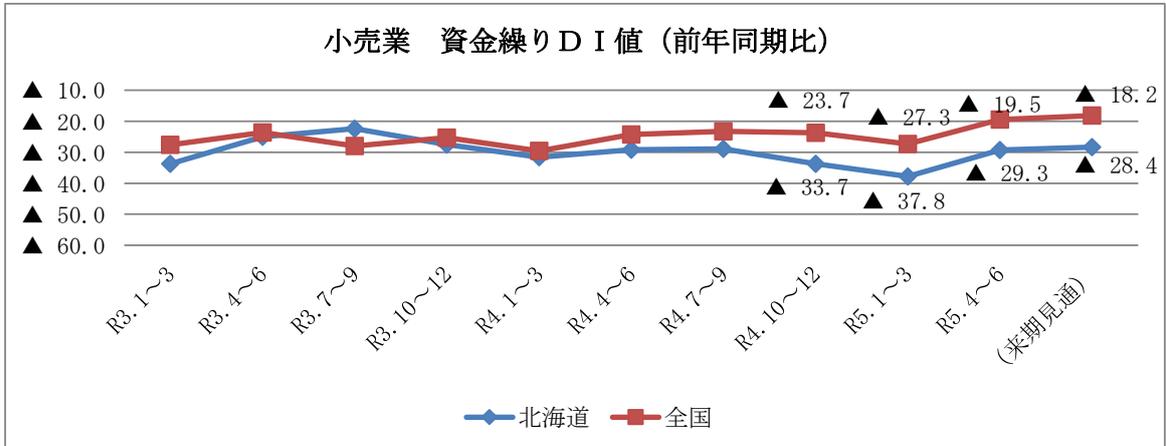
売上額



採算



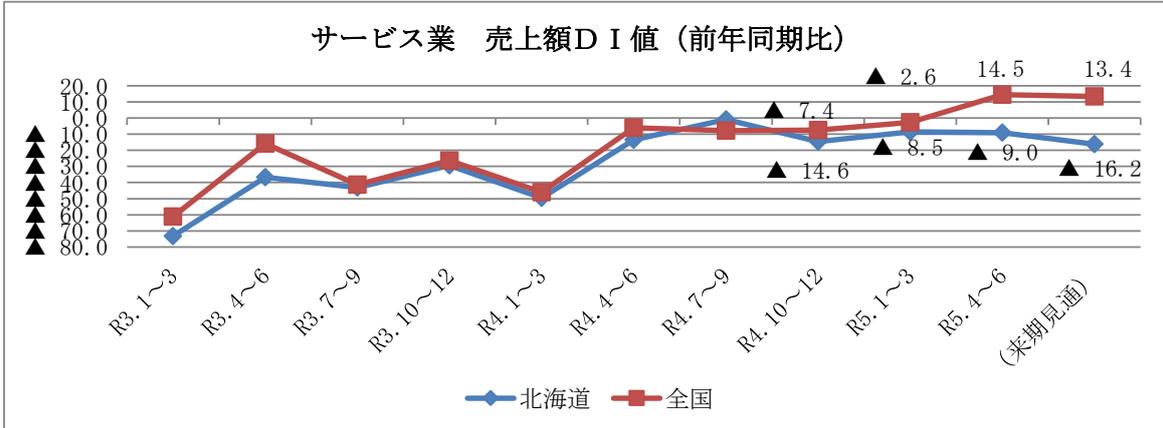
資金繰り



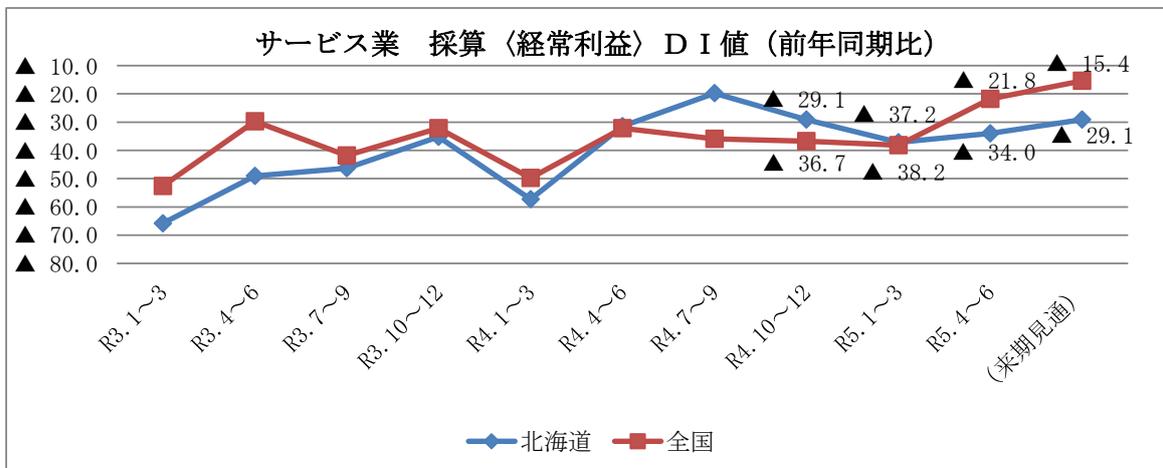
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

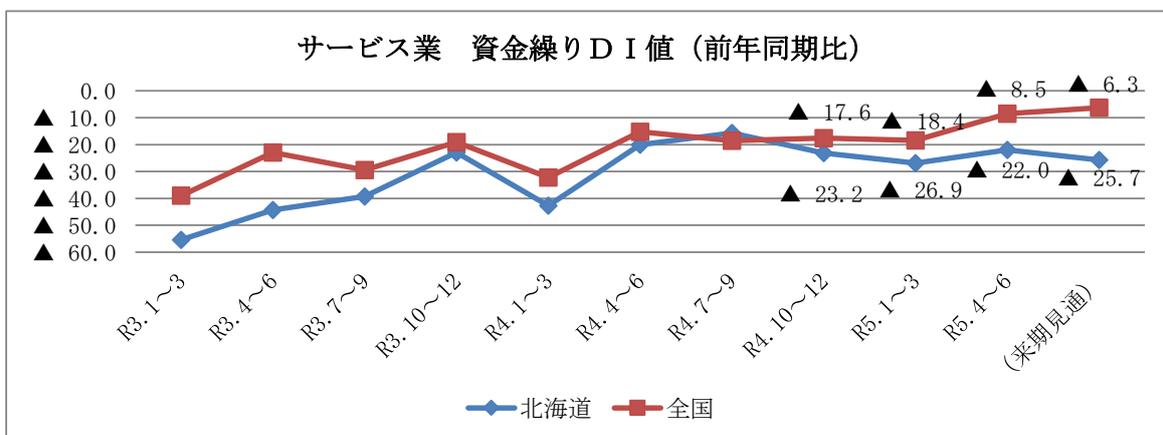
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○安定して受注が入ってきている。やはり従業員不足が悩みの種。今後の目標は、人を増やして売上も上昇させていくこと。どの様に人員を募集するかが今後の課題。</p> <p>○売上、客数ともほとんど変わらない。</p> <p>○原材料価格の高騰が続き難しい。</p> <p>○原材料の仕入単価の上昇により、見積の単価の変化が著しい。また客層により仕事の内容に変化がある。水産や加工は堅調だが、農業・林業が厳しいことから設備投資に差が生じていることが要因といえるだろう。</p> <p>○経費、資材が高くなる。景気も悪くなる。</p> <p>○人の動きが少しずつ活発になってきたが、昨年より動きが鈍い。業界的にシーズンが始まってみないと動きが読めないのはあるが、コロナ明けたので経済が回るのを期待している。</p> <p>○製品ニーズの変化への対応と生産設備の老朽化と資金不足の三重苦。</p> <p>○度重なる原材料の高騰に加え、光熱費や燃料費等の負担額が激増しているが、そのすべてを売価に転嫁できるわけではない。</p> <p>○コロナウイルスが5類に移行した事によりイベント、バーベキューに伴う注文が増加。スーパー関係の卸売りも好調で昨年を大きく上回る見通し。注文が増加しているが従業員が不足しているので賃上げも検討して求人予定。</p> <p>○新型コロナウイルスが5類扱いになって、少しずつ法事用菓子のオーダーが増えてきた。材料費の高騰が続いているため、値上げした。値上げによる売上額上昇を願う一方値上げによる客離れを懸念している。</p> <p>○強固な豆腐専門店として確立しているため、地域大型店、百貨店の食品催事に出店を増やす。標茶店の来店を増やすため、20・30代女性の客層を中心に来店動機となるニーズを見つけ若返りを図る。</p> <p>○世界的な経済不安を原因とした経費高と為替の乱高下によって何もかも経営要素にアンバランスが生じてる。</p> <p>○高齢化のせいで退職があり、人手不足で人材の補充が難しい。</p>
建設業	<p>○4月より従業員が減少し、会社の規模を縮小し存続する道を選んだ。後継者不足、従業員の確保難、官民間問わず仕事の減少等多くの問題を抱えている。人口減少、少子高齢化の中、経営者としての決断が迫られている。</p>
小売業	<p>○燃料価格の高騰により、客単価の低下。並びに仕入単価の上昇、人件費及び経費の増加による経常利益の低下に苦しむ。</p> <p>○4月～ゴールデンウィークまでは、観光客がコロナ前以上に戻ってきた印象。コロナ期の反動と、全国、世界的にニセコエリアの注目度が高まっているのを感じるので7月以降の観光シーズンは忙しくなると想定される。</p> <p>○売上は変わらず仕入価格は上昇している。</p> <p>○コロナ禍も5類へ変更になり、人々が動き出している中、イベント等も再開し始めているが3月のブランクがあるのと年齢が増している所以对応がスムーズで無いことがある。</p> <p>○コロナが5類に移行し、人出の増加を感じるものの、それに伴った消費が結びついていない。加えて卵不足の影響で特売のチラシが打てず、今以上の集客が難しい。今後も継続的な支援に期待したい。</p> <p>○今年は統一地方選挙があったため、清酒の売上が好調でした。コロナもマスクの緩和があり、徐々にイベントも増え、それに伴い注文も増えてきました。今後も夏にかけ祭りなどのイベントが予定されています。</p>

<p style="text-align: center;">小売業</p>	<p>○「消費者の変化と対応」コロナも明けショッピング、旅行の需要が増えてきました。ルールが変わるたびに業種毎の景気変動が激しく光熱費の高騰により家庭内の予算も厳しい今後の変動の様子見る状況。</p> <p>○コロナ明けで徐々に人の流れが少しずつですが良い方向に向かいつつあるように感じています。外国人観光客も少しですが本別まで来ているようでこの調子で客数や売上が上がるように期待しています。</p> <p>○新型コロナの影響により生活習慣や行動変化が売上減少に拍車をかけている。小売部門をはじめ特に葬儀部門においては、客単価が極端に減少した。逆に仕入単価、経費の増加と経営は苦戦している。</p> <p>○すべての物が値上げしているのが厳しい。</p> <p>○光熱費、物価高騰に伴い消費者が家計の支出を抑えているため、低価格商品をスーパー等で購入するので、売上は激減している。</p> <p>○アフターコロナでGWの観光入込数は、予想を超えた入込になり、購買傾向も回復したように思います。できれば購買傾向が上向いたままで経過していくことを願います。</p>
<p style="text-align: center;">サービス業</p>	<p>○販管費が増加した為、値上げ実施。値上げによる常連客の減りはない。</p> <p>○固定費の上昇で単価を上げたいが、客離れが起きるかも考えると単価を上げずらい。</p> <p>○コロナの終息で客は増えているが仕入単価、経費が高いため利益につながらない。値上げすれば済む話ではない。</p> <p>○4月から新入社員が入社して、従業員不足という問題はなくなりましたが、人件費が上がった分、売上も上げていかなければ、、、と思います。</p> <p>○観光客数がコロナ前のレベルに戻りつつあり利用者数の増加を見込める。しかし燃料費を代表に様々な項目のコストが上昇している。</p> <p>○農繁期に入り、客数が減っている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が落ち着き、北海道LOVE割の影響でお客様が徐々に戻りつつある。</p> <p>○業況の悪化は電気代高騰と仕入高の上昇が主な要因。ただ3男が高校定時制に進学し、昼夜ともに家業を手伝うようになり、人手不足は解消された。</p> <p>○日本人の従業員確保が難しいので、多国籍の意欲的な派遣員を採用してみようと思う。取り急ぎ整備資格がなくても補助的要因として人員が確保できれば、作業効率が上がり、業況も良くなるのではないかと期待する。</p> <p>○仕入価格の高騰とその他経費が上昇している。価格転嫁が必要な状況であるが価格転嫁をしていない。社員給与も上げる検討している。</p> <p>○値上げして客単価が上げ。全体的に上がっている経費をまかなえそう。</p> <p>○値上げが多すぎて客足が減ってきている。これでは、人件費上げられない、売上も下がる。サービス業だと値上げも難しい。</p> <p>○不採算部門の廃止により、売上は減少するも、経費が大幅に減少する事が見込まれるので、経営内容は良くなると思う。</p> <p>○少しずつお客さんは増えているが未だに安定的とは言えない状況である。今後の旅行需要拡大に期待したい。</p>
<p style="text-align: center;">サービス業</p>	<p>○コロナ関連の助成金がなくなったことで、営業収益に大きな変動はないが、経常収益が大きく減少する見込みである。</p> <p>○原材料や光熱費の高騰が続いていて、経営を圧迫している。新商品での客単価アップを図っているが、なかなか効果が見られない。</p> <p>○資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。</p> <p>○前期は公共事業はなく、宿泊客が大幅に少なかったため、後期に期待している。経費や仕入単価も増加しており大変厳しいです。</p> <p>○農家の収支が悪化しています。電気料金のアップも一般家庭に影響が出ています。店に来る間隔が長くなっています。今のところ収支トントンですが、この状態が長引くと困ります。早い時期の終息を望んでいます。</p> <p>○想像していたよりも売上が伸びていない。しかし、材料等仕入単価の上昇やエネルギーの高騰により経費がかかってしまい、利益につながらない。また、借入返済も始まり資金繰りがかなり困難な状況です。</p>